お 知 ら せ

平成２８年６月２１日
秋田河川国道事務所
秋田港湾事務所
金足農業高等学校
環境土木科

将来の土木を担う高校生を対象とした現場見学会を開催
～国道7号 下浜道路及び秋田港を見学～

国土交通省が事業を進めております、国道７号 下浜道路及び秋田港港湾工事において、金足農業高校環境土木科の３年生３５名を対象とした、「現場見学会」を行います。
実際の現場を見て、普段学習している土木に対する知識の向上を図り、ひいては土木建設業への興味・関心を高めてもらい、今後の進路選択に役立てていただきたいと考え、実施するものです。

１）日　　時：平成２８年６月２４日（金）　①下浜道路　１０：２０～１１：３０
　　②秋 田 港　１３：１０～１４：４０

２）場　　所：①秋田市下浜羽川～下浜桂根（下浜道路工事現場）
　　②秋田港港内（外港地区防波堤、飯島地区泊地 工事現場）

３）対　　象：金足農業高校　環境土木科　３年生　３５名

４）見学内容：①橋梁架設工事現場
　　②防波堤基礎工事、浚渫工事現場

５）取材申込：別紙５様式に記入いただき、事前に下記ＦＡＸ番号へ送信願います。
　　（ＦＡＸ ０１８-８６４-４４２５、６月２３日(木)１５：００必着）

集合場所：①秋田市下浜羽川（Ａ１橋台横の平地）※別紙１参照
　　・１０：２０までお越しください
　　②ポートタワーセリオン２Ｆ「ポートシアター」※別紙２参照
　　・１３：００までお越しください

※国道７号「下浜道路（L=6.2Km)」は、平成３１年度の開通を目指しております。
※飯島地区泊地は平成２８年度、外港地区防波堤は平成３５年度の完成を目指しております。

発表記者会：秋田県政記者会

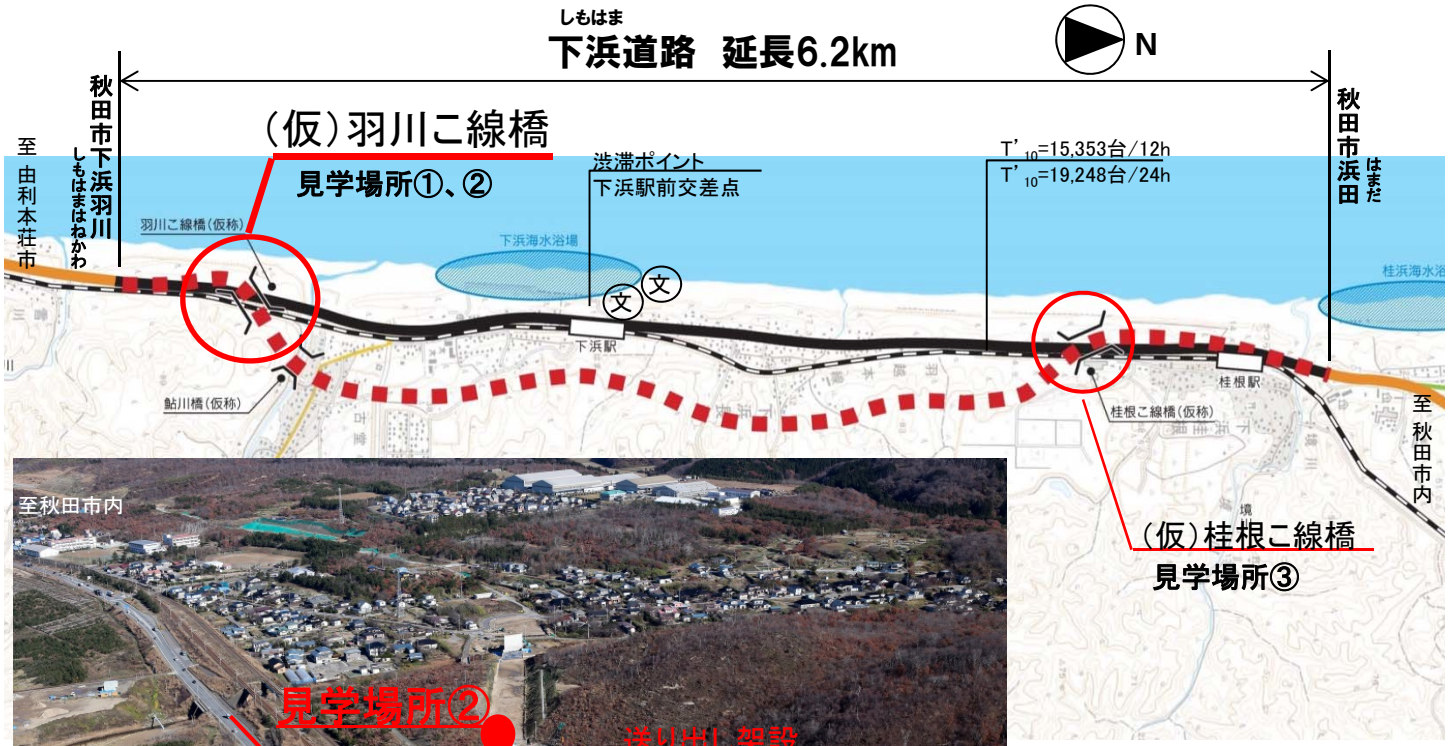
問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
副所長（道路担当）　田口　和弘（内線205）電話 018-823-4167（代表）ＦＡＸ 018-864-4425
電話 090-8929-9353(携帯)
国土交通省　東北地方整備局　秋田港湾事務所
副所長（技術）　佐藤　久和（内線22）　電話 018-847-2511(代表)　ＦＡＸ 018-880-1021

秋田県立金足農業高等学校
環境土木科教諭　丹　啓記　電話 018-873-3311　ＦＡＸ 018-873-3313

位　置　図

別紙1





▲羽川こ線橋付近の状況（H27年11月撮影）

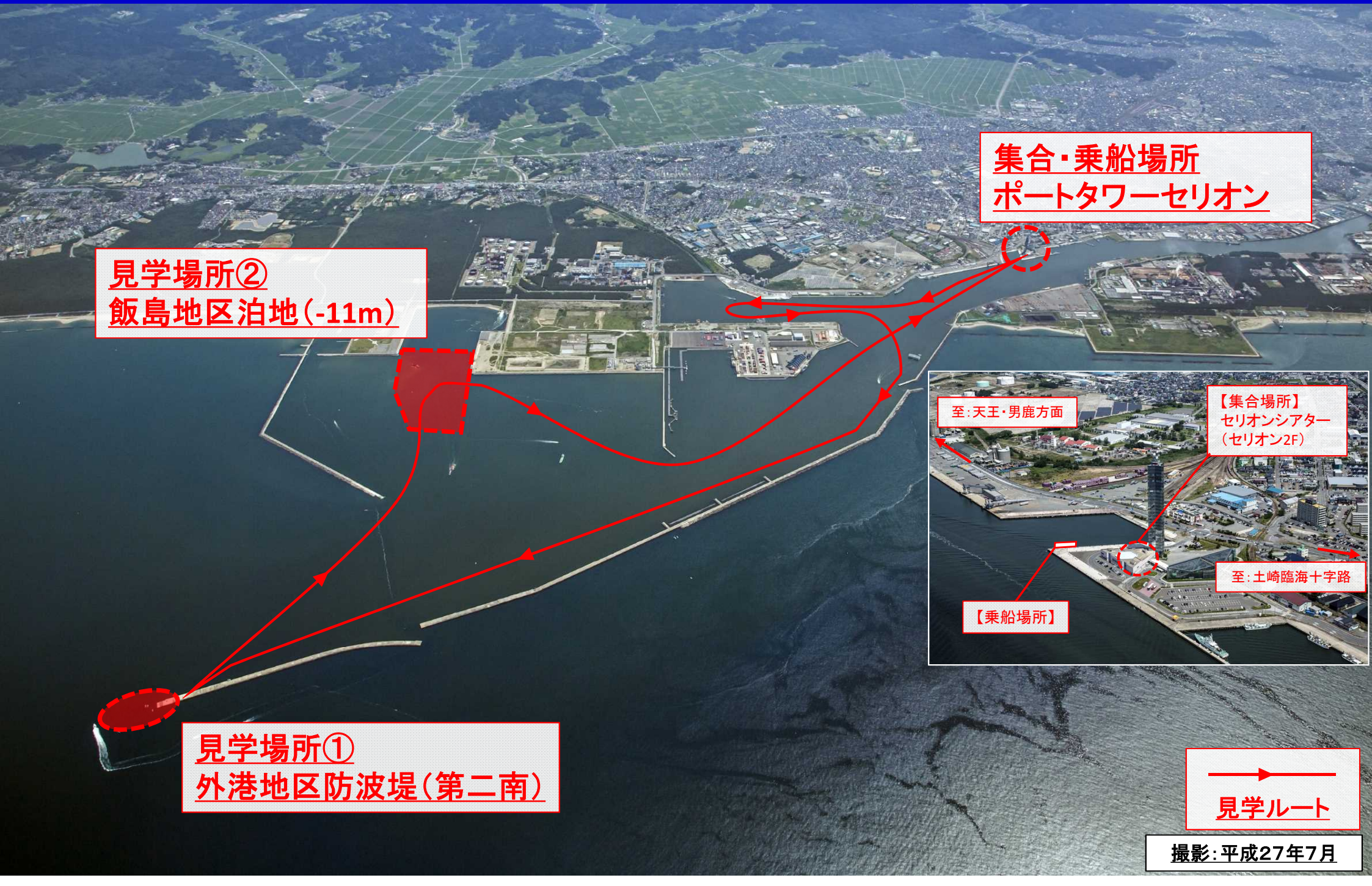


▲集合場所（H28年6月10日撮影）

※国道7号を秋田市方向からJR下浜駅を過ぎて、約1.5kmのところに羽川こ線橋工事現場があります。A1橋台の横にお入りください。

位置図

別紙2

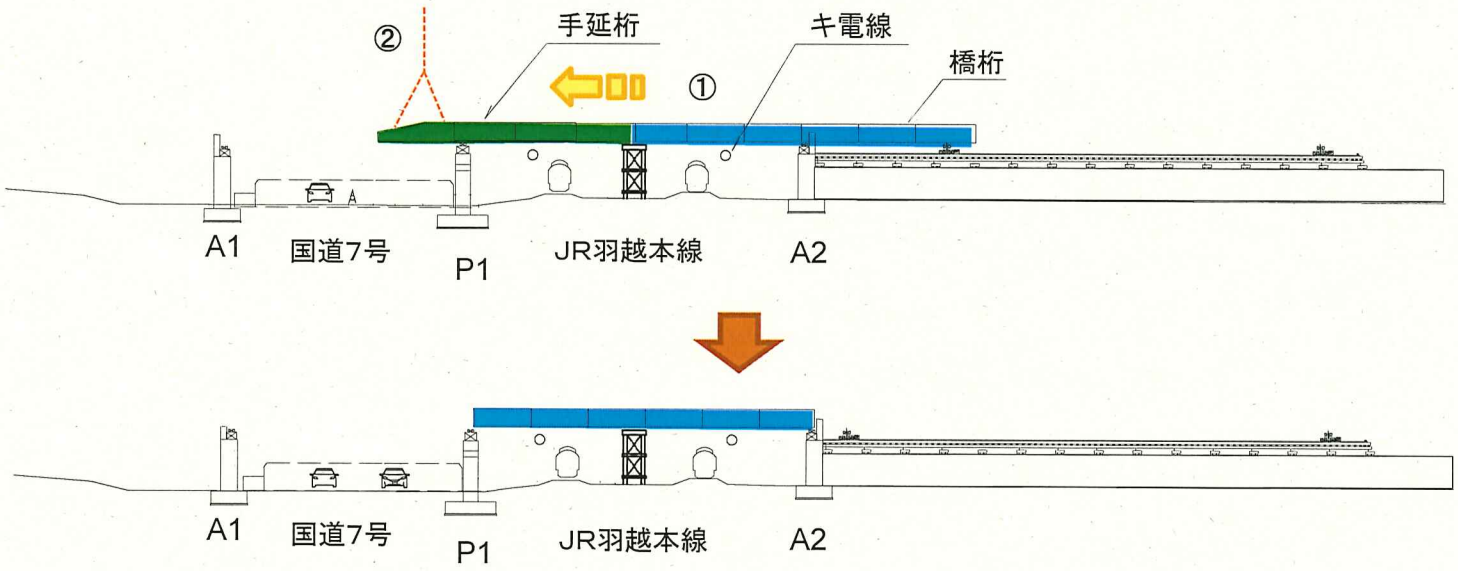


撮影：平成27年7月

別紙3

◇羽川こ線橋　桁架設作業手順

■JR羽越本線上空に架設するため「送り出し工法」にて施工



作業手順

① JR線のキ電を停止し橋桁を送り出す。

② 国道側に突き出た手延べ桁をクレーンにより解体。

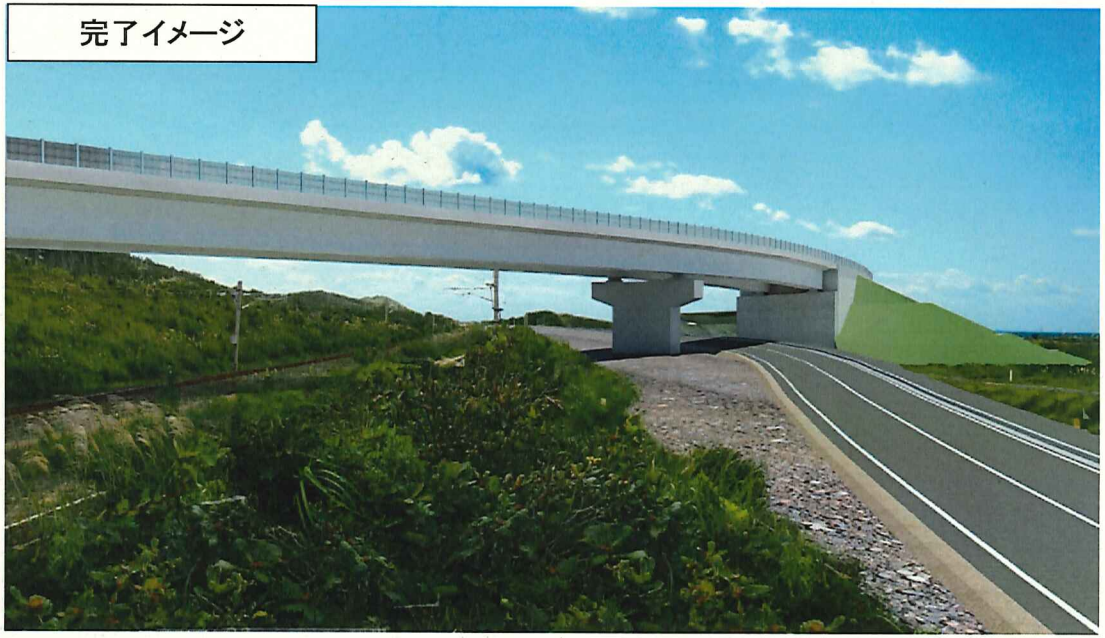
※H28年6月16日夜間より作業開始（26日まで）

現況写真



（H28年6月10日撮影）

完了イメージ



平成28年度　当所発注港湾工事の概要

別紙4

件名：秋田港外港地区防波堤（第二南）基礎工事
受注者：（株）加藤建設
工事概要：基礎工 88m（基礎捨石 約7,000m3）

・一般的に「防波堤」と呼ばれるものは、「ケーソン」（フランス語で箱）と呼ばれる鉄筋コンクリートで出来た巨大な「箱」であり、安定性確保のため、下部には石積みの基礎を施工する。
・基礎マウンドの厚さは約3m、使用される石材は1個あたり200~500kg程度。

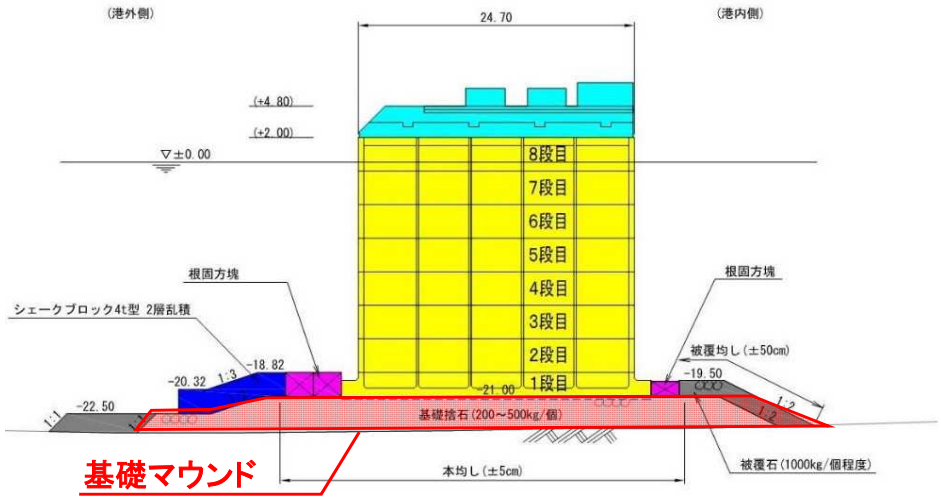
【施工の流れ】


積込・運搬


捨石投入


潜水士による荒均し

秋田港（外港地区）防波堤（第二南）標準断面図



件名：秋田港飯島地区泊地（-11m）浚渫工事
受注者：若築建設（株）
工事概要：浚渫工 49,000m2（土量 約164,000m3）

・「浚渫」とは、港湾・河川などの水深を深くするため，水底をさらって土砂などを取り除くこと。
・今回使用する船舶（第11平成）は、国内最大級の浚渫船。
・グラブが一度に掴める最大土量（30m3）は、一般的なダンプトラック（10t積み）に換算すると約5台分に相当。（土の比重：1.8t/m3で換算）

【施工の流れ】


浚渫・積込


土運船で運搬


揚土・陸上仮置



【グラブ浚渫船　第11平成　概要】 ※青木組パンフレットより抜粋
長さ：56.0m、幅23.0m、喫水2.5m（満船時）
クレーンエンジン出力：2,500PS
使用グラブバケット：30m3（グラブ重量65t）

別紙５

国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所　宛
（FAX　018－864－4425）

国道7号下浜道路及び秋田港

将来の土木を担う高校生を対象とした現場見学会　取材申込書

取材希望の場合は、この様式を用いて上記連絡先までFAXでお申込み下さい。
申込み締め切り日は、6月23日(木)15：00迄です。

会社名、部署名、人数
取材者（役職・氏名・連絡先）
①(代表者)
②
③
連絡先(代表者の連絡先)

国道7号下浜道路　整備効果

◇整備効果

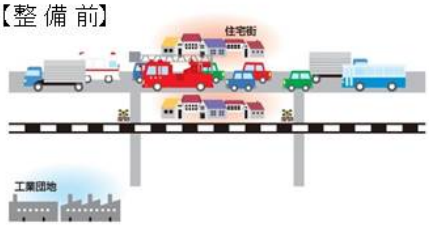
①交通渋滞の解消及び交通騒音の減少

■交通分散が図られ、観光期をはじめ通年での混雑解消及び交通騒音の減少が期待される。

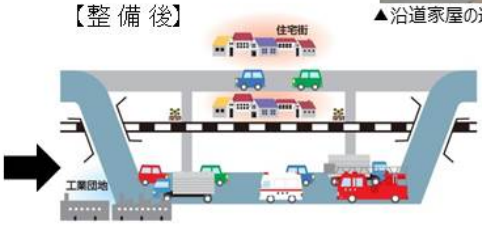


▲沿道家屋の近傍を走行する大型車

【整備前】



【整備後】

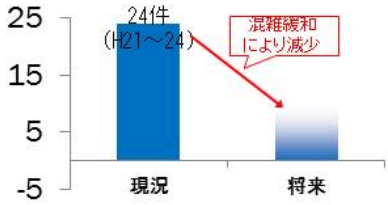


②沿線通学路の安全確保

■交通混雑が緩和し、自動車・歩行者相互の安全性向上が期待される。


▲下浜地区の通学状況

▼国道７号の交通事故減少

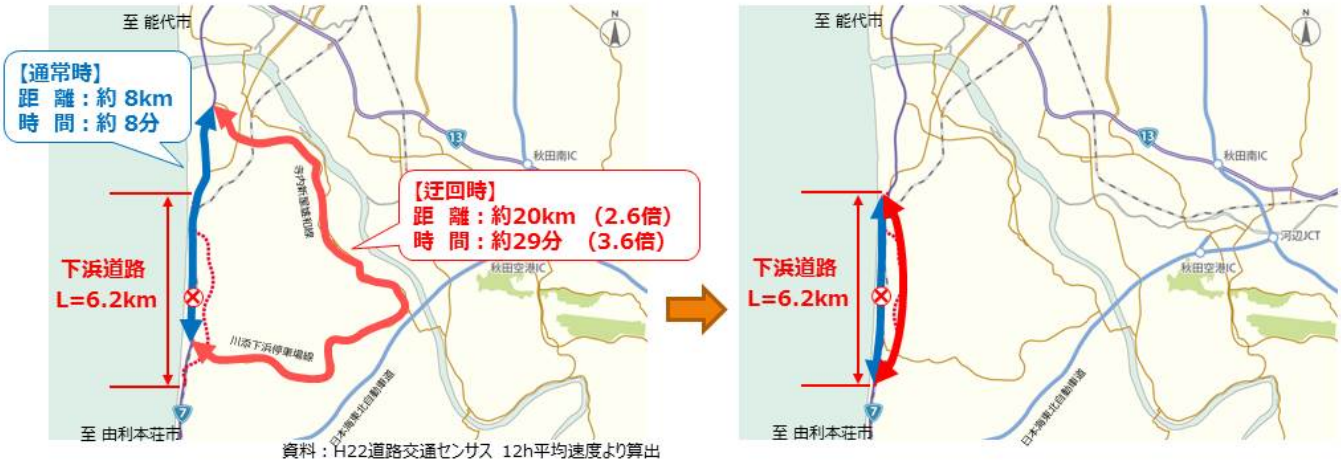


③緊急時の代替路確保

■主要幹線道路としての信頼性を確保する。


▲H24.4.4爆弾低気圧による電柱倒壊（全面通行止め）

▼国道７号通行止め時の迂回状況（下山交差点～新屋跨道橋）



資料：H22道路交通センサス 12h平均速度より算出